分野	今の課題・問題	分野別の将来像	将来像実現のために必要な取り組み	
			既存の取り組み (一部抜粋)	晴海台ゆうやけサミットで出された意見 (一部抜粋)
交流	 ・自治会のメリットを感じないという声があり、自治会を退会する人、加入しない人が多い ・自治会の役員は仕事が大変というイメージがあり、担い手がいない ・自治会に入っていない人からすると地域に入りづらい ・共働きの家庭が増え、地域活動ができる人が少ない ・まちの宣伝が不足している ・住民の集う場所が少ない ・晴海台地域に共通して誇れる産品がない ・地域全体の交流が少ない 	気軽に声かけできる ふれあいのまち晴海台	 自治会だよりの発行 自治会加入の声かけ ・晴海台小学校祭り ・納涼祭 ・餅つき大会 ・各種スポーツ大会 (ボーリング、輪投げ、グラウンドゴルフ、ペタンク等) ・自治会の日帰り旅行 	・自治会加入と活動への参加促進の取り組みを行う ・自治会役員の輪番等を見直し、負担にならないようにする ・「ラジオ体操」「歩こう会」のような地域の人が気軽に集まることができる定期イベントを行い、自治会活動につなげる ・ホームページや動画でまちのロケーションの良さを宣伝する ・小学校やふれあいセンターをもっと気軽に立ち寄れる交流スペースとして活用する ・利用可能な空き家等の空きスペースを活用して、ゲストハウスや住民の趣味・得意分野を活かした活動スポットを創り出す ・晴海台まんじゅうなど特産品を作って話題づくりをする ・食を通した交流会を行う ・晴海台運動会など全世代参加型のイベントを開催する ・転入者の「歓迎会」を開催する
自然・生活環境	 ・ガードパイプ等が老朽化していて、安全上不安で景観的にも悪い ・地区内の案内板が老朽化していて、番地表示が分からない ・心を癒す草花が身近な場所にない ・歩道に雑草や凹凸があり、歩きにくく危険である 	みんなが空・海・緑・人 を活かして癒されるまち づくり	・ガードパイプや階段塗装 ・花の植え替え(ふれセン周辺) ・道路整備について行政へ 要望 ・リサイクル資源回収 ・市民大清掃・年末大清掃	 ・行政と地域の役割分担を明らかにしながら、住民でできる環境整備は自主的に行う ・案内板の管理の責任を明らかにし改修する ・バス停付近、メインストリート、公園の花壇などに花を植える ・自宅周辺の清掃をお互いに心がける
福祉	 ボランティアの後継者の育成が必要 ごみ出しや家事等で困っている 病気にかかったときに不安 商業施設が少なく買い物が不便 ATMがないので不便 交通の利便性が悪い 通院や買い物に行くときの交通手段が不便 サロンの参加者がいつも同じなので、参加者を増やす工夫が必要 	・"今日も元気?"~明るい笑顔で気軽な声かけ~・より生活の利便性を高めるための助け合う仕組みを創ろう	 ・月1回食事会 ・敬老会 ・食事会の買い出しボランティア ・高齢者ふれあいサロン ・とくし丸移動販売 ・ささえあいネットワーク ・むつみ会の一泊旅行 ・ふれあい訪問収集事業 	 ・見守りが必要な方等の情報共有のしくみをつくり支援する ・ボランティアに興味を持ってもらうため、今行われている活動へ参加の声かけをする ・専門機関から講師を派遣してもらい、講座等を開催し、後継者を育成する ・支援が必要な方に対してささえあいマップの作成に取組み、健康に不安がある方の緊急時の連絡網を作成する ・地域で買い物ができるしくみを検討する ・移動ATMの誘致を検討する ・タクシーの乗り合わせやコミュニティバス等、多様な交通手段を検討する ・お互いに誘い合い、声をかけあう関係づくりを行う
子育て	 ・子どもが少なくなったり、育成協、子ども会がなくなったりしているので、人とのつながりが希薄になっている ・集まる場として小学校の体育館を利用したいが、修繕等整備が必要 ・子育て(特に幼い子ども)に関する情報が伝わっていない ・自治会活動等に参加する時に子どもを預かる場所がない 	・子どもの声が聞こえるまち・笑顔が一番多いまち大人の友達が多いまち	PTA主催のラジオ体操 学校だよりを地域へ配布 幼稚園、小学校のホーム ページによる発信 子育て教室 卒業祝い餅つき	・親子と地域の方が関わる機会をつくる ・地域住民と先生方との話し合いの場をつくる ・安心して子育てができる地域づくりを行う ・放課後子ども教室で世代間交流を行う ・今後も地域に開放する学校としていくため、必要な整備を行政に求めていく ・晴海台の子どもが誰でも集まり、意見を言える場をつくる ・赤ちゃん訪問をしている民生委員と連携する ・子育てサロンなどの子育てに関する情報を様々な場所で親へ周知する ・子どもが一緒に参加できるしくみをつくる ・夏祭り等の既存の活動をもっとPRして活用する
防犯•防災	 ・消防団員の不足 ・地域の人が危険箇所をよく知らない ・避難場所、避難方法、何を持って行くか、家族との連絡方法を知らない ・地区ごとに防災リーダーの配置が必要 ・道が暗く、街灯が少ないため、防犯上危険 ・空き家が増えている 	犯罪・災害のない 安心・安全なまちづくり	 ・地域防災マップ ・100人パトロール ・歳末警戒子どもパトロール ・防災広場 	 ・消防団のイメージアップ・活動PRを行い、男女問わず消防団員の増員につなげる ・防災訓練を継続して行う ・自宅でできる防犯・防災の心得、防災マップ等を配布する ・防災情報を共有できるしくみをつくる ・自治会、民生委員、消防OB、消防団OB、公務員OB等で地区災害助け隊を設立する ・防災講話等の定期的な開催により、防災意識を高める ・街灯の設置要望、防犯カメラの設置を検討するなど防犯に対する取り組みを行う